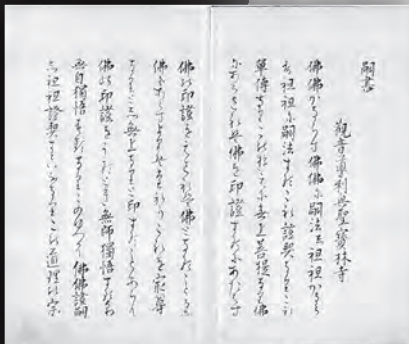


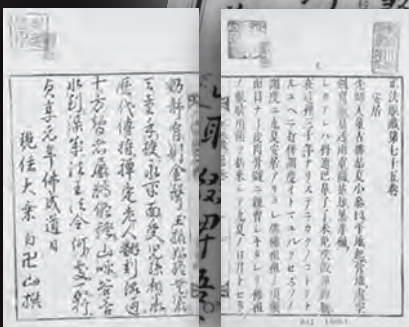
# 『正法眼蔵』 出版の足跡

～貴重書に見る禅の出版文化～

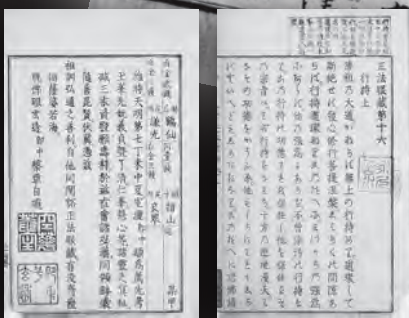
平成 21 年 6 月 8 日 ( 月 ) ～ 7 月 24 日 ( 金 )



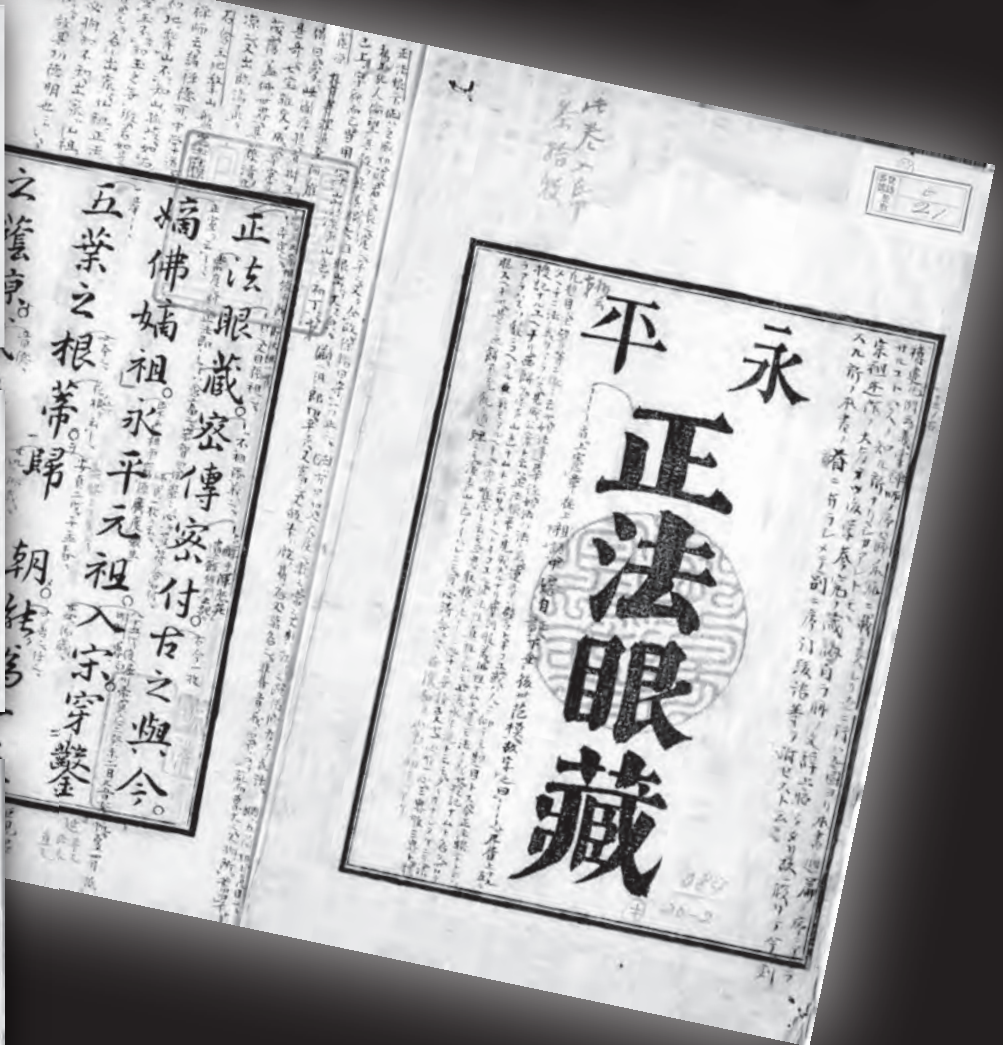
道元禪師真筆『正法眼蔵詞書』



石山道白編『正法眼蔵』卷七十五安居



玄透即中編『正法眼蔵』第十六行持篇(仏眼寺版)



玄透即中編『永平正法眼蔵』(本山版)

- 実践セミナー「写経」  
講師：高橋秀栄先生（元金沢文庫長）  
6月17日（水） 16:30～18:00 定員30名
- 講演会 禅博セミナー「『正法眼蔵』出版の足跡」  
講師：角田泰隆先生（本学仏教学部教授）  
6月26日（金） 16:30～18:00 定員50名  
※参加費無料、申込先着順、電話・FAX、  
または博物館受付でお申し込み下さい。
- 開館時間 10:00～16:30（入館無料）
- 休館日 土・日・祝日  
※6/20(土)・7/5(日)・7/18(土)・7/19(日)・7/20(祝)  
は開館します。
- 後援 世田谷区教育委員会

駒澤大学禅文化歴史博物館

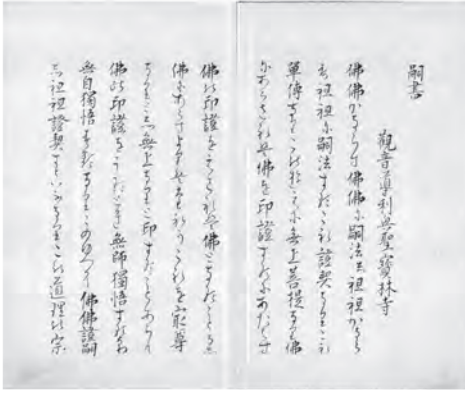
The Museum of Zen Culture and History, Komazawa University

〒154-8525  
東京都世田谷区  
駒沢 1-23-1  
TEL(03)3418-9610  
FAX(03)3418-9611



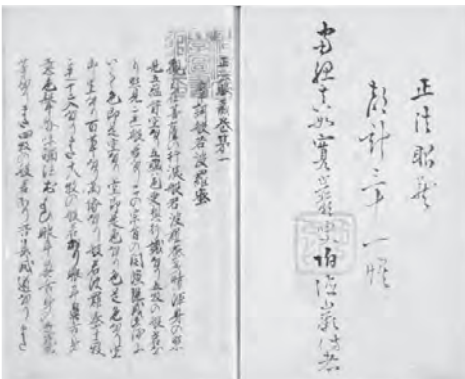
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/zenbunka/>

# 『正法眼蔵』 出版の足跡 ～貴重書に見る禅の出版文化～



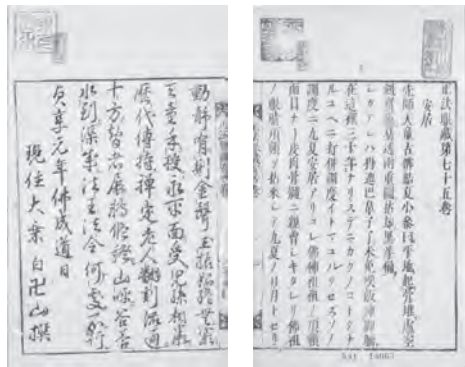
道元真筆『正法眼蔵嗣書』寛元元年(1243)筆  
道元禅師の名著『正法眼蔵』の数少ない自筆本の一つ。

自筆本



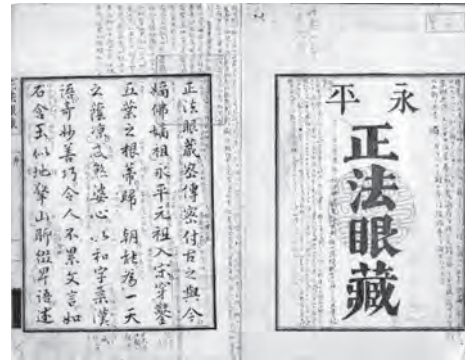
寛巖春登筆『正法眼蔵』元禄6年(1693)写  
江戸時代前期に書写された『正法眼蔵』の古写本。

書写本



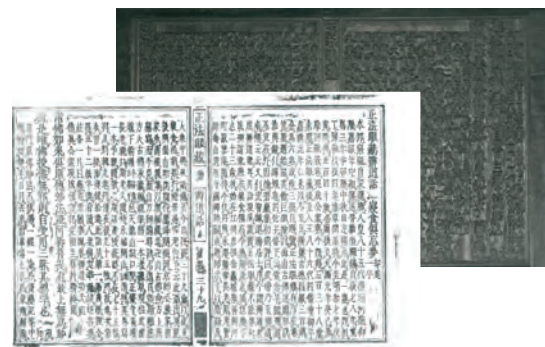
卍山道白編『正法眼蔵』巻七十五 安居 貞享元年(1684)刊  
曹洞宗中興の祖・卍山道白による最古の木版本『正法眼蔵』。

木版本



玄透即中編『永平正法眼蔵』(本山版) 寛政8-文化13年(1796-1816)刊

永平寺50世玄透即中が刊行した『正法眼蔵』。今日一般に読まれている『正法眼蔵』の原型。



江戸時代の版木(『正法眼蔵却退一字参』)  
江戸時代まで日本で使われた木版印刷の原版。大量印刷が可能にし、日本の出版文化を支えた。

印刷の原版



明治時代の紙型(『承陽大師聖教全集』)  
組み上げた金属活字原版を型取った紙製の鋳型。印刷の近代化に伴い、原版の複製を作ることが可能にした。

『正法眼蔵』は、日本曹洞宗の祖・道元禅師(1200-1253)の代表的な著作であり、道元思想の集大成として、また日本曹洞宗の根本宗典として今日に伝わっています。

『正法眼蔵』は、道元禅師の法を嗣ぐ者たちの手で脈々と書写されて受け継がれ、各寺院に秘蔵されてきました。そのため、ごく一部の僧侶のみが目にすることができ、現在のように広く読まれるようになるには、多くの人々の努力がありました。

今回の展示では、駒澤大学に所蔵される道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』をはじめ、良質な書写本・木版本などの貴重書を通して、『正法眼蔵』が現在の私たちの目に触れるようになった過程をたどります。

あわせて、禅の出版文化を通じた、日本の出版文化史に触れていただければ幸いです。